

教授内容の概要

授業のタイトル		授業の種類	授業担当者
プログラミング言語 I		演習	平野正喜
授業のコマ数	単位数	配当学年・時期	必修・選択
24コマ	4単位	1年前期	必修
[授業の目的・ねらい]			
プログラミング言語C/C++の基礎を身につける。VisualStudioのコンソールを使用してのプログラミングを身につける。			
[授業全体の内容の概要]			
VisualStudioのコンソールを使用してC/C++の学習を行う。			
[授業修了時の達成課題(到達目標)]			
C/C++でプログラムを組むにあたり、最低限必要な知識の習得。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ	テーマ	内容	キーワード
1	動作確認、プログラム基礎	VisualStudioの動作確認。 入出力(<code>printf</code> , <code>scanf</code>)、整数、比較と代入、 演算子	
2	条件分岐/繰り返し	小数、キャスト、 <code>rand</code> 条件分岐(<code>if</code> , <code>switch</code>)、繰り返し(<code>for</code> , <code>while</code>)	
3	定義、定数、列挙型	<code>bool</code> 、 <code>define</code> 、 <code>const</code> 、 <code>enum</code>	
4	デバッグ	ブレークポイント、ウォッチ ステップオーバー、ステップイン、ステップアウト	
5	関数①	関数、引数、戻り値 グローバル変数、ローカル変数	
6	配列①	一次元配列 前期中間試験(課題提出)	
7	配列②	二次元配列	
8	アドレスとポインタ	「&」の正体、メモリとアドレスとポインタ 普通の変数とポインタの使い方と中身の違い	
9	関数②	配列(ポインタ)を引数、戻り値に使用する関数 シャローコピー(参照)、ディープコピー、 <code>const</code> 引数	
10	構造体	構造体、構造体の配列 オペレーター	
11	関数③	構造体を引数、戻り値に使用する関数 構造体の配列を引数、戻り値に使用する関数	
12	テスト	前期試験(課題提出)	
使用テキスト・参考文献		[単位認定の方法及び規準]	
別途提示		中間提出30%、最終提出30%、毎回提出20%、出席20%	